

みんなで防災実施報告書

開催日時 令和7年3月20日（祝・木）13:00～16:00

開催場所 新天町商店街サンドーム

当日気温 約14℃

福岡県西方沖地震発生から20年を迎えた3月20日に、新天町商店街サンドームで各種関係機関と連携し、みんなで防災を開催しました。

今回は20年の節目の年だったことから、多くの関係機関へお声がけし、参加のご協力を得ることができたことから、参加関係機関が増えました。（11団体）

また今回車両展示（給水車、モバイルファーマシー、電気自動車）やクイズラリーを実施したことから、通行される方が興味を持って立ち止まり、その結果、多くの方が各ブースをまわる様子が見受けられました。

多少寒かったものの、天候には恵まれ、備えることの大切さを関係機関とともに周知するいい機会になりました。



1. 各ブースの状況

【Aブース】

■受付・本部

【内容】

- ・クイズラリーの台紙配布並びにクイズラリー体験者に景品を配布
- ・博多あん・あんリーダー会の紹介

【来場者】：約200人（クイズラリーより）

【感想】

- ・昨年と比較して参加者が多く、景品を渡すときも参加者と楽しく交流できた。



■福岡管区気象台（福岡管区気象台：5名）

【内容】

- ・地震・津波関連の実験器具を3、4台
展示し、来場者へ分かりやすく説明

【来場者】：約80人

【感想】

- ・気象台を身近に感じていただくことができた。
- ・県内でも地震や津波のリスクがあることを
認識いただけた。
- ・地震や津波による災害の簡単な原理について、
実験器具を通して関心を持ったり理解したり
していただけた。



【Bブース】

■福岡市水道局（水道局：6名）

【内容】

- ・給水車展示、応急給水体験

【来場者】：約200人

【感想】

- ・幅広い世代の方たちが利用する場所での
イベントだったことから、多くの方に、
災害への呼びかけを行うことができた。



【C ブース】

■福岡市地域防災課（市地域防災課：3名）

【内容】

- ・市防災アプリ「ツナガルプラス」のダウンロード支援・機能紹介

【来場者】：約250人（パンフ等より算出）

【感想】

- ・全体的な市民への『ツナガルプラス』への関心と普及啓発に効果があったと思う。
 - ・防災・減災に対する関心を市民に伝えるよい機会と感じる。
- 今後も続けていけたらよいと思う。



■福岡市薬剤師会・第一薬科大学（市薬剤師会中央支部9名、第一薬科大2名）

【内容】

- ・災害対策医療品供給車両展示・内部見学・説明、災害時のお薬手帳・マイナンバーカードの必要性について啓蒙、長期保存可能なカロリーメイト等を来場者へ配布

【退場者】：約200名（大人150、子供50名）（アンケート調査を基におおよそ集計）

【感想】

- ・お薬手帳（電子お薬手帳）の周知・啓蒙ができた。
- ・災害時含め、マイナンバーカードの必要性について周知・啓蒙ができた
- ・皆様及び福岡市民の熱意を感じられた。



■ 応急手当を広める会（応急手当を広める会：6名）

【内容】

- ・リトルアン人形を使用した心肺蘇生とAED使用の練習

【来場者】：約130人

【感想】

- ・歩行者道路に車が3台も入って、「何事だろう」とかなり一般市民の気を引くことができた。
- ・クイズは盛況でよかった（しかし、意外と知らない人が多いのにびっくりした）。



【Dブース】

■ 福岡県建築士会（福岡県建築士会：6名）

【内容】

- ・紙製の筋交い模型「防災紙ぶるる」を揺らし耐震の仕組みを感覚的に理解してもらう。
- ・紙ぶるるキットはお土産で渡す。

【来場者】：36人（アンケートより）

【感想】

- ・建築士会として参加し、建築士会のことを少しはアピールできて良かった。
- ・天神ビッグバンで再開発されて大きく様変わりされるであろう天神新天町でイベントができて良かった。
- ・通行人は年配者ばかりかと思い込んでいたが、思ったよりも親子連れや若い人が通行していることがわかった。
- ・事前会議があったおかげで他団体の方と事前に確認することができたし、当日も互いに声が掛けやすかった。



■福岡市建築物安全推進課・福岡市耐震推進協議会（市：4名、協議会：5名）

【内容】

- ・福岡市における耐震化に係る補助金の概要チラシや揺れやすさマップの配布
- ・地震が起きた際の木造住宅の揺れを再現できる模型「ピノキオぶるる」の展示

【来場者】：約20人

【感想】

- ・普段自らが積極的に情報収集しない市民に対して、情報提供できた。
- ・様々な主体の取り組みを知れたこと。参加者としても勉強になった。
- ・当課以外の防災対策を知る機会となるとともに、当課の事業が他の防災対策が支障なく行うための前提として大切なものであるという再認識ができた。
- ・当課の事業のPRができた。
- ・耐震対策を推進する市の立場として、節目となる20年イベント（市民防災の日）に参加できたことは意義があった。



■博多あん・あんリーダー会

【内容】

- ・災害が起きると断水や停電、排水設備等の破損でトイレが使えなくなる。
- ・非常時のトイレ、防寒・簡易雨合羽の展示説明

【来場者】：約60人

【感想】

- ・クイズラリーの実施や、各種防災車両の展示はインパクトがあり良かった。
- ・参加している県、市などの行政関係機関と交流ができて良かった。



E ブース

■福岡県防災企画課（県防災企画課：2名）

【内容】

- ・県が配信する防災アプリ「ふくおか防災ナビ・まもるくん」の登録促進及び災害用備蓄の紹介展示

【来場者】：約60人

【感想】

- ・人通りが多く、普段防災を意識していない方たちの目にも触れることができたところが良かった。
- ・一方で、ただの通行人（特に若年層）に対して、関心を持ってもらうことに難しさを感じた。



■日産福岡販売株式会社（日産福岡㈱：2名、日産自動車㈱：1名）

【内容】

- ・電気自動車リーフの展示とリーフからの給電デモンストレーション

【来場者】：20名（車両やパワームーバーなどの説明対応を行った人数）

【感想】

- ・思った以上に防災意識が高い方が多い事がわかった。また、EVから電気を取り出せることを知らない人がまだ多いと感じた。
- ・新天町は人通りも多く年齢層が幅広い、特に高齢の方にEVからの給電に興味持っていた事で出来たと思う。



■博多あん・あんリーダー会

【内容】

- ・非常持ち出し（0次、1次、2次）の展示や案内
- ・在宅避難・ローリングストックなどの掲示物展示

【来場者】：約130人

【感想】

- ・規模拡大の効果があったと思います。集客効果が感じられた。
- ・備えに関心の高い方が必ずしも十分な備えを実行しているとは限らないようだった。
- ・まだまだ防災意識啓発の必要性を感じた。
- ・関心のアンケートをとっていた早良支部などのメンバーがつれてきた方々は、熱心に興味深く説明を聴かれていた。
- ・来場者には、やり過ぎくらい徹底しているユーチューバーの若者もいれば、自身の被災でショックを受けた体験を語ってくださる方もいて、参考になった。



2. 改善点と今後の方向性

(1) 改善点

- ・サンドームの横の通路には横断幕が掲げてあったが、新天町商店街の西鉄福岡駅側入り口あたりにも看板があったほうが良かったと思う。
- ・行政も一緒にやっているのでも、市政だよりに掲載してもっとPRができればいいだろうか。
- ・車両展示などの目立つツールのないところへの回遊が少ない。
- ・ブース内を回遊しずらそうだった（3団体の机の配置や通路の狭さが原因か？）
- ・イベント会場（周辺を含む）で、どのブースでどのようなことが行われているのかを示す大きな案内板がある方がよい。

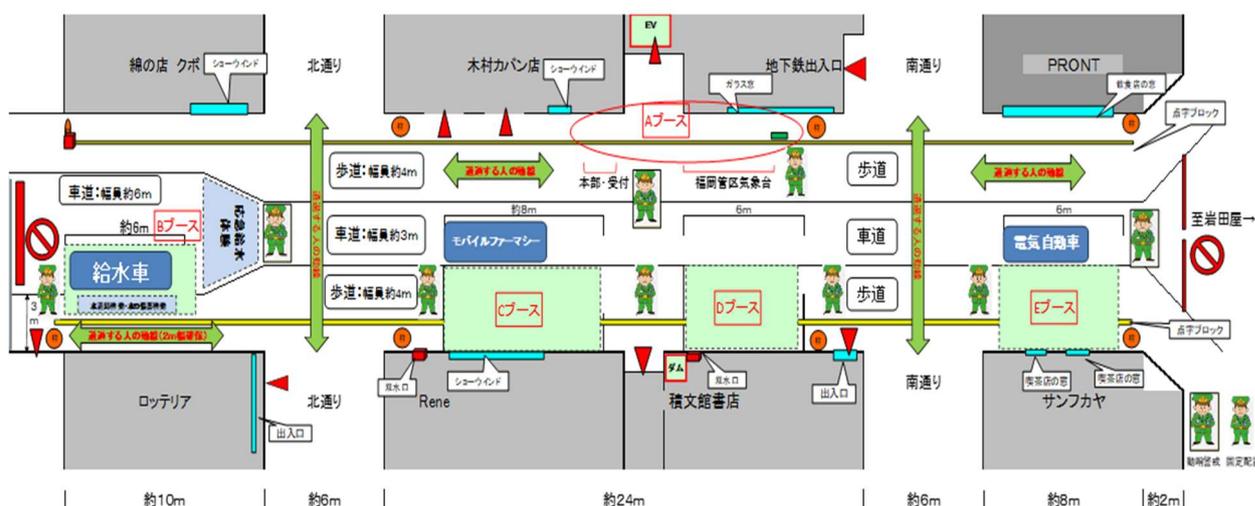
- 車両搬入の時に、スムーズに出来なかった。
- ブース内テーブルなどの狭い所を通り抜ける人があったので、人通りが多いのを考えてレイアウト検討が必要でした。
- 車両搬入の際に、他団体と搬入時間が重なり、周辺へ渋滞等の影響が出てしまっていたので、来年度以降は、車両搬入時間をずらす等の工夫が必要だと感じた。
- スタンプするブース案内が小さく分かりにくかった。私も何人かに尋ねながら、場所を探しました。次回はスタンプのマークを大きくするか、わかりやすいところに大きめの看板を置くなどの工夫が必要だと思いました。
- クイズラリー (A,B,C,D,E) の場所が分かりづらく、迷うお客が多かった。クイズの裏面に地図を入れるなどの工夫があれば良かったのではないかな。
- 各ブースの展示主体がどこの組織なのかが分かりづらかった。(改善の主体は個々の組織かもしれませんが) 各組織の旗や看板があった方が組織のアピールにはなると感じた。
- スタート前の『打合せ』が、初対面のメンバーも多く、コミュニケーションをとるために必要だった。

(2) 今後の方向性

次回以降、同種同規模で、新天町サンドーム内で実施するとした場合

- 分かりやすい全体の案内看板も必要
- ブース毎のレイアウトにもう一工夫必要 (回遊性など)
- 車両展示のあったブースは来場者が多かったことから、車両展示は人を引きつけるので、新天町では有効な手法である。
- クイズラリーをするなら、スタンプを設置している場所が分かるよう、スタンプマークを大きくするなど工夫が必要。

3. 会場レイアウト



4. 収支計算書

2025年みんなで防災収支予算書（決算書）

月	日	摘要	収入金額 (予算額)	支出金額 (決算額)	差引残高	備考
		前年繰越金	24,724			
		リーダー会事業費	150,000			
		WeLove天神協議会協賛金	0		174,724	今回We L o v e 天神協議会の協賛金は無し
1	12	みんなで防災予算	174,724		174,724	前年までの繰越金と事業費からの支出分を今回の予算として計上
3	9	ロール看板（横断幕）印刷		3,500	171,224	コピー代（長尺厚口コート紙70円/10cm）5m
	15	ロール看板（横断幕）掲示備品		440	170,784	
	16	みんなで防災ちらし		6,443	164,341	1,000枚アスクルで印刷発注
	14	クイズラリー台紙印刷		2,918	161,423	A4カラー300枚作成
	16	減災グッズチェックシート		1,500	159,923	150枚作成
	16	クイズラリースタンプ		660	159,263	
	20	備品レンタル代		115,500	43,763	長机、パイプ椅子、展示パネル、敷マット
	20	当日スタッフ交通費		35,220	8,543	30名（新天町:20名、エルガーラ:7名、玄界島:3名）+フェリー代
	20	応急手当を広める会分		1,000	7,543	人形AED借用料は今回負担無 4組、運搬用車両駐車料金1,000円
	20	予備費（駐車場代等）		1,200	6,343	松田さん駐車場代
		※当日クイズラリーで配布の防災グッズ300個は、防災フェア中止により残った防災グッズを活用するため予算計上はしない。				
		合計		168,381		

5. まとめ

- 当会でを行う多くの人の参加が見込まれる防災イベントでは、ケガ人を出さないよう、安全面の注意喚起に十分配慮する。
※福岡市市民活動保険制度の活用又はイベント傷害保険等への加入
- みんなで防災は、リーダー会単独で開催するより、その名の通り関係機関と連携してみんなで開催することが効果的である。
- みんなで防災は費用がかかる（約20万円）ことから、リーダー会だけで負担しないで実施する方法を検討する必要がある。
※参加する関係機関から資金提供を依頼する。（行政機関は当該年度での依頼では予算が確定しているので、支出するのは難しい可能性がある）
※財団等が募集している助成金や補助金を活用申請し、予算確保する。